

2014年 ISAF ミッドイヤー ミーティング レポート

クローチェ新会長の打ち出した軽量化されたミッドイヤーミーティング

於： サザンプトン 英国 5/9-11. 2014

報告 大谷 たかを (ISAF イベント委員、カOUNシルメンバー)

会議の効率アップと日程縮小と経費節減を就任当初から打ち出していたカルロ クローチェ会長のもと 2014 年のミッドイヤーミーティングは開催しない予定であったが、持ち越された議案等が多く急きょ開催されることとなり、今回は ISAF のおひざ元のサザンプトンでカOUNシル会議を含まず、イクイップメント委員会、イベント委員会、エグゼクティブ会議に絞って開催された。

今回の会議での主なトピックは

1. 2016 リオ大会のアップデート

準備の遅れが懸念されている大会会場となるマリーナダグロリアの大改修の計画は縮小の方向。今年は8/2-9、来年は8/12-22にテストイベントが開催される。グアナバラ湾の汚染対策の遅れが目立つ。湾には人口密度の非常に高いリオ市内を流れる 3 本の河川が流れ込み、浮遊物回収等の計画は進んでいる、しかし根本的な水質改善に向けての計画はあるが工事が大会に間に合うかは疑問。参加国の中には独自の水質検査を始めた国がある。ロンドン大会で実現できなかったインターネット上へのトラッキング情報発信や小型オンボードカメラの開発が進んでいる。

2. 2016 リオ大会でのレースフォーマット

スケジュールは今年のテストイベントの結果を見て検討。捨てレースは 3 レース以降に一本のみ、コースはロンドン大会を継承しつつ見直し。ターゲットタイムは下記。

49er は幅の狭いコースでのタイトレース、メダルレースは連続3本という試みが続けている。

2016 オリンピックおよびワールドカップでのターゲットタイム

ターゲットタイム	オープニングシリーズ	ファイナルシリーズ
RS: X	20 (非プレーニング) / 20-25 (プレーニング)	20
Laser / Radial	50	25
Finn	50	25
470	50	25
49er / FX	30	未定
Nacra 17	30	20

3. 2016リオ大会に向けてのクオリファイ

種目別艇数／選手数および選考大会別クオリファイ数が発表された（下表）

種目別艇数／選手数

	艇数	選手数
男子		
ウインドサーファー	36	36
一人乗りディンギー	46	46
一人乗りディンギー（ヘビーウエイト）	23	23
二人乗りディンギー	26	52
スキッフ	20	40
女子		
ウインドサーファー	26	26
一人乗りディンギー	37	37
二人乗りディンギー	20	40
スキッフ	20	40
混合		
マルチハル	20	40
	274	380

選考大会別クオリファイ数

[illegible]

1人乗りディンギー	19	4	2	2	1	2	2	2	1	2	37	37
2人乗りディンギー	10	3	1	1	1	1	1	1	1	0	20	40
スキッフ	10	3	1	1	1	1	1	1	1	0	20	40
混合												
マルチハル	10	3	1	1	1	1	1	1	1	0	20	40
											274	380

2015/16 北米大陸の選考大会には2015年パンアメリカンゲームでのクオリファイ枠を南北米の全ての国からの参加を認めるという条件付きでレーザーとラジアル級2枠の内の1枠が与えられることとなった（I O Cの承認待ち）。残りの1枠は、北米はマイアミ、南米は独自の選考大会開催。それ以外の大陸別クオリファイ大会の詳細は未定。

4. セイリング ワールドカップ

大成功のアメリカスカップ等の運営の手腕を買われて、元サンフランシスコY Cのレースマネージャーのジョン クレイグがI S A Fにヘッドハンティングされ、早速、急願であったグランドファイナルが今秋にも中東で開催されるとのうれしいニュースを報告。会議後ジョン クレイグに呼び出され、次のラウンドは2020年オリンピックに向けての流れを強調するので、2017年からのアジアでのワールドカップは是非日本でやりたいとの打診があった。

5. ユースワールド予定

今年の大会は73か国参加（ポルトガル タビラ にて）、参加国の増加に伴い今後の大会ではクオリファイ制か乗換制が検討されている。

2015年(12月末―)のマレーシア大会からは29 e r が男女別の種目となる

2016年(12月末―)はオマーン

2017年(7月)はイスラエルでは新マルチハルの導入が予定されている。

6. 2018年I S A Fセイリング世界選手権はデンマークに決定！！

韓国の釜山、ポーランドのグディニャ、オランダのハーグという強豪都市を破って三度目の誘致だけに綿密な計画と市内に面したレース海面という恵まれた条件が買われてデンマークのオーフスが獲得した。

準備された選手を前面に出したブックレットの一部



その他

J S A Fとして今回の大きな目的は2020年東京オリンピックの実行部隊の中心となる入部透（J S A F 東京オリンピック準備委員会総務部長）をI S A F 首脳部およびオリンピック関係者とのパイプをつなぐ点にあり、その中でもI S A F イベントマネージャーのアリスターフォックス、ロンドンオリンピックのコンペティションおよび大会会場マネージャーで大役を果たしたロブアンドリュースとはかなり踏み込んだ話までする機会が持てたのが大きな収穫であった。

両氏からの情報から

世界からの日本向けの期待は大きい！まだ6年あるからという考えは通用しない、1964年に東京オリンピックをやり遂げたという自負も通用しない。2020年に向けてきっちりと下準備が取れる体制／体質をしっかりと備えたJ S A Fの構築が必要だ。2020年に向けてJ S A Fに非常に不足している国際大会運営力をつけるためにこれからは大型マルチクラス大会、クラス世界選手権を山ほど経験して初めて成功に導くことが出来る。

I S A F側からもレース運営／計測／ルールに関するクリニックやセミナーの全面的な協力も申し出てくれた。

しかし、なんといっても求められるのが英語力！！今からでも決して遅くないNHKの英語講座等で英語力をつけておくことがまず第一歩といえる。

イクイップメント委員会に日本から参加していた堤智章の辞退が報告され、それに伴った補充は行わない旨報告された。東京オリンピックを控えJ S A FとしてはI S A F とのパイプ強化が特に必要な時期における日本からのI S A F 委員会への参加メンバー縮小は決して望ましいことではない。

今会議への日本からの参加は2名だけ（入部透、大谷たかを）という近年まれにみる寂しい日本代表団であった。



ISAF のオフィスがある1号岸壁に集まるサザンプトン市民
ヨットのメッカ カウズウィークで知られるワイト島とソレント海峡が湾口となるサザン
プトンは英国の中で最も安全な天然港、世界中のクルーズシップが立ち寄る。会議最終日
はその中でもクイーンメリーをはじめ3クイーンが同時に出航するという、船大好きとい
う英国民にとって外せないイブニング。22時の出港に合わせて花火大会 ！！
ISAF のオフィスはなんとその中心に位置する1号岸壁上の建物内にある。その対岸で
は、ボルボオーシャンに向けてオールカーボン製67フィートのワンデザイン世界一周レ
ーサーが次々と建造されているという海洋文化の差をひしひしと感じた。

以上（敬称略）